

部局名	健康福祉部	所属名	国保年金課	所属長名	笠原 豊晴	電 話	483-1151 内線3150
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	9136		事務事業名称		保険財政共同安定化事業拠出金					短縮コード		経常		臨時	9136	
予算区分	会計	10	国民健康保険事業特別会計		款	07	共同事業拠出金		項	01	共同事業拠出金		目	02	保険財政共同安定化事業拠出金	
区 分	☐ 自治事務 ☐ 法定受託事務				根拠法令等		国民健康保険法附則第13項、千葉県国民健康保険団体連合会保険財政共同安定化事業・高額共同安定化事業規則									
☒ その他																
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																
平成18月10月1日。県内の市町村間の保険料の平準化、財政の安定化を図る。																
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして								
事業区分「その他」のため評価対象外						大項目（節）	03	社会保障								
						中 項 目	01	国民健康保険								
						小項目（施策）	01	財政運営の健全化								
						細 項 目	02	医療費（給付）の適正化								
					実施計画の計画事業											
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	一般被保険者						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： 千葉県国民健康保険団体連合会が県内の高額療養費拠出額を算定し、その額を県内の市町村の過去3ヵ年の一般被保険者の対象医療費と八千代市の過去3ヵ年の一般被保険者の対象医療費の構成比により算出し、拠出額の決定を行う。八千代市はその決定に基づき千葉県国民健康保険団体連合会に納付する。千葉県国民健康保険団体連合会はその拠出金を管理する。八千代市は一般被保険者一病院あたり30万円を超えるもののうち8万円を超える部分の医療費の額の100分の59の相当額を交付申請する。						
	※平成21年度に計画していること： 事務費拠出金の支出						
意図 （何を狙っているのか）	千葉県国民健康保険団体連合会に拠出後、一般被保険者高額療養費の国の負担金以外の財源として交付されるため、予想が困難である高額療養費の市の国民健康保険財政負担の緩和が図られる。						
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外						
区 分			単位	1 9 年 度	2 0 年 度		2 1 年 度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	事業区分「その他」のため評価対象外	なし				
	指標 2						
	指標 3						
活動指標	指標 1	事業区分「その他」のため評価対象外	なし				
	指標 2						
	指標 3						
成果指標	指標 1	事業区分「その他」のため評価対象外	なし				
	指標 2						
	指標 3						
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

コード	9136	事務事業名称	保険財政共同安定化事業拠出金				所属名	国保年金課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			事業区分「その他」のため評価対象外			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止(事業完了含む)								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費				
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
事業区分「その他」のため評価対象外									

所属長コメント	事業区分「その他」のため評価対象外								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			事業区分「その他」のため評価対象外					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止(事業完了含む)									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									